

平成31(2019)年度学力向上対策

和歌山県教育委員会

現状と課題

☆確かな学力の向上

- 子供が主体的に学ぶ学習に取り組む授業実践が不十分である。
- 文章を正確に読み解く力や、示された条件に合わせて複数資料を関連付けたりして適切に表現する力が十分身に付いていない。
- 家庭学習(予習・復習)は、小学校では改善傾向にあるが、中学校では定着していない。
- 学校の授業時間以外に、普段、全く読書をしていない子供の割合が高い。

☆教員の資質・能力の向上

- ベテラン教員の大量退職に伴う若手教員の大量採用により、経験豊富な教員からの若手教員への知識・技術の伝達が困難になっている。
- 各中学校区の学校間で、義務教育9年間を見通した学習指導など、教育課程に関する共通の取組が不十分である。

☆基本的な生活習慣の確立

- 朝食を毎日食べている子供の割合は、減少傾向にある。

目標

【成果指標：2020年度全国学力・学習状況調査結果】

- 教科に関する調査結果で、すべての教科の県平均正答率が全国平均以上になる。
- 次の児童生徒質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。
 - ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う子供の割合
 - ・予習、復習をする子供の割合
 - ・学校の授業時間以外に、普段、全く読書をしていない子供の割合
 - ・朝食を毎日食べている子供の割合
- 次の学校質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。
 - ・近隣の小学校と中学校で、授業研究を行うなど、合同して研修を行った学校の割合

取組

1 「チーム学校」としての組織力向上

- 「スクールプラン」「学力向上推進プラン」に基づいた学校運営の促進
- 地方別小中学校長研修会及び教頭研修会の実施による学習指導の改善・充実
- 義務教育9年間を見通した計画的・継続的な学習指導の促進

2 学び続ける教員の育成

- 戦略的な学校経営力向上に向けた、教頭の県外派遣の実施
- 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえた教員研修の実施
- ミドルリーダー育成のための、中堅教員の県外派遣及び長期研修員事業の実施
- 若手教員の指導力向上に向けた、フォローアップ事業の継続

3 基礎学力の定着

- 課題の大きい学校への重点的な指導・支援の実施
- 市町村教育委員会と連携し、学力向上をめざした指導・支援の実施
- 『国語マスター問題集』『理科マスター問題集』の徹底活用の促進
- 評価問題、評価テスト、チャレンジ確認シートの徹底活用の促進
- 県学習到達度調査の実施による基礎学力の点検
- 補充学習の実施によるつまずき解消

4 子供が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

- 「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条」の徹底指導
- 『国語授業事例集(DVD)』『理科授業事例集(DVD)』及び『動画研修パッケージ』の活用促進
- 学校図書館の開館と活用、ICT活用の促進
- 学力向上推進に係る研修会の実施による授業改善の促進
- 地方別授業づくり研究会の活性化

5 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化

- 「早ね・早おき・朝ごはん」運動の推進
- 携帯電話・スマートフォン、SNS等の使用についての指導の促進
- 宿題としての予習・復習(自主学習)の徹底指導

具体的な取組について

1 「チーム学校」としての組織力向上

○「スクールプラン」「学力向上推進プラン」に基づいた学校運営を促進し、学校の組織的な取組により学力向上を図ります

各種調査結果やデータ等に基づき、学校評価と関連付けて「スクールプラン」を作成・公表・実行するとともに、「学力向上推進プラン」を実行するよう指導・支援する。

☆8月と2月に検証

○地方別小中学校長研修会及び教頭研修会を実施し、学習指導の改善・充実等に向けた組織的・計画的な取組を促進します

全国学力・学習状況調査及び県学習到達度調査結果の分析から、学習指導の改善・充実等に向けた組織的・計画的な取組を進めるよう指導・支援する。

☆校長研修会 10月～11月、教頭研修会 12月～1月

○小学校と中学校の連携をより一層強化し、義務教育9年間を見通した学習指導の充実を図ります

小中合同の研修会等を実施し、小・中学校の学習指導についての理解を深めるとともに、各中学校区においての授業相互参観等に取り組むよう指導・支援する。

2 学び続ける教員の育成

○戦略的な学校経営力向上事業により、突破力のある管理職を育成します

学校の課題を改善する力をもった管理職を育成するために、5名の教頭を福井県に2週間派遣し、研修成果を県内に普及することで、学校経営力の向上を図る。

☆地方別公立小中学校教頭会等で研修成果を報告

○「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえた教員研修を行い、校長及び教員の力量向上を図ります

校長及び教員のキャリア段階に応じた教員研修を実施し、授業実践力・生徒指導力・マネジメント力の向上を図る。

☆教育経営研修、新任教務主任研修、中堅教諭等資質向上研修、

初任者研修、2年次・3年次・6年次研修

○学校・地域のリーダーとなる「学力向上コアティーチャー」の養成及び「長期研修員研修」を実施し、授業改善を進めます

県内各地方で中核となる教員16名を秋田県に1週間派遣し、その成果を所属校及び地方別研修等で報告し普及する。

☆和歌山県教育委員会、市町村教育委員会等の主催する研修会等で研修成果を報告

○フォローアップ事業を継続し、若手教員の指導力向上をめざします

優れた教育実践力をもつ退職教員を、学力定着に課題を抱える小・中学校(46校)に派遣し、学校の取組や若手教員の授業力や学級経営力の向上を支援する。

☆5月から2月まで、1校当たり14回程度実施

3 基礎学力の定着

○課題の大きい学校への重点的な指導・支援を行い、学力の定着を図ります

県教育委員会と市町村教育委員会の各指導主事がチームを組み、課題の大きい学校に対して継続的に指導・支援する。

○市町村教育委員会と連携し、学力向上をめざした指導・支援を行い、学力の定着を図ります

市町村教育委員会と連携し、学力向上をめざした取組を進めている学校を、継続的に指導・支援する。

○『国語マスター問題集』『理科マスター問題集』を繰り返し活用することを促進し、学力の定着を図ります

教科書に対応した問題集を、授業・補充学習・家庭学習等で効果的にかつ繰り返し活用し、読む力と書く力、問題を解決する力の確実な定着を図るよう指導・支援する。

○**評価問題・評価テスト・チャレンジ確認シートの活用を促進し、継続的に基礎学力の定着を図ります**
チャレンジ確認シートの活用を促すとともに、全国学力・学習状況調査実施後に課題克服のための評価問題を、県学習到達度調査実施後に課題克服の状況を把握するための評価テストを配信し、児童生徒一人一人の学力の定着を図る。

☆【**評価問題**】 対象学年：小5・6、中1・2 教科：国、算・数、理、英 時期：8月

☆【**評価テスト**】 対象学年：小5、中2 教科：国、算・数、理、英 時期：2月

問題内容：平成31年度までに実施した全国学力・学習状況調査と県学習到達度調査で課題のあった問題

☆【**チャレンジ確認シート**】 平成31年度までに実施した全国学力・学習状況調査問題

○**県学習到達度調査を実施し、基礎学力の向上を図ります**

当該学年までに学習した基礎的・基本的な学力の定着状況を把握し、授業改善や個に応じた指導に生かすよう指導・支援する。

☆対象学年：小4・5、中1・2 教科：国、算・数、理（小5・中2のみ）時期：10月16日（水）

○**補充学習のための教材やプログラムを提供し、学習のつまずきを解消します**

放課後だけでなく長期休業等を利用した補充学習を実施し、学習のつまずきを解消するよう指導・支援する。

☆「補充学習・家庭学習のための問題」「夏休み補充学習の進め方」（動画）を学びの丘 web ページで配信

4 子供が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

○「**和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条**」を徹底し、「**主体的・対話的で深い学び**」となる授業をめざします

「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条」を徹底するとともに、学習評価を充実させる。

○『**国語授業事例集(DVD)**』『**理科授業事例集(DVD)**』及び『**動画研修パッケージ**』の活用を促進し、**授業改善を進めます**

教員の授業力を向上させるため、主体的・協働的な学びの実現をめざした授業づくりの指導用映像資料(DVD)や動画研修パッケージの活用を研修会や学校指導・支援訪問等を通じて促進する。

○**学校図書館の開館と活用、ICTの活用を促進し、子供が主体的に取り組む授業をめざします**

学校図書館を、常に活用できる環境を整えるとともに、学校図書館やICTを効果的に活用し、問題解決的な学習の充実に取り組むよう指導・支援する。

☆学校図書館担当教員、学校司書、学校図書館ボランティア等への研修

○**学力向上推進に係る研修会を実施し、全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえた授業改善を促進します**

全国学力・学習状況調査結果分析を踏まえた学習指導の改善・充実となるよう、担当者を対象とした研修を実施し、学力向上を図る。

☆【**国語、算数・数学**】 対象者：小学校教員、中学校国語科・数学科担当教員

☆【**英語**】 対象者：中学校英語科担当教員

○「**地方別授業づくり研究会**」の活性化を図り、**学力向上のためのネットワークづくりを進めます**

県内すべての教員が連携して学び合える環境を整え、各地方における教員の授業力を向上させることで、児童生徒の学力向上を図る。

5 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化

○「**早ね・早おき・朝ごはん**」運動を啓発し、**生活リズムの確立を図ります**

生き生きとした学校生活を送るため、「早ね・早おき・朝ごはん」運動を啓発し、家庭・地域と連携して、生活リズムの確立を促進する。

○**携帯電話・スマートフォン、SNS等を安全に利用できるよう、家庭・地域と連携した取組を進めます**

情報モラル教育、児童会・生徒会活動での取組、保護者への啓発等により、携帯電話・スマートフォン、SNS等の安全な利用についての指導を促進する。

☆ネット指導教員養成講座

○**予習・復習を自主的に取り組めるよう、家庭学習の手引き等の効果的な活用を促進し、家庭学習の習慣化を図ります**

家庭学習の手引き等を効果的に活用し、予習・復習を宿題（土・日を含む。）として出すなど学年に応じた家庭学習の取組を促し、家庭学習の習慣化を図る。